

## 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査による圏域の状況について

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、アンケートの結果を厚生労働省「見える化システム」に登録することにより、下記のリスク判定が計算されます。

### 【システム判定基準（ニーズ調査実施の手引きより）】

#### （１）運動器機能リスク

この設問で3問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）が回答された場合は、運動機能が低下している高齢者になります。

NO	設問内容	選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

## (2) 栄養改善リスク

身長・体重から算出されるBMI (体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}) が18.5以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。

NO	設問内容	選択肢
問3 (1)	身長・体重	cm      kg

なお、オプション設問のオプション項目にある設問のうち、体重の減少傾向を把握する「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」も併せて確認し、2設問ともに該当した場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

### 【オプション項目】

NO	設問内容	選択肢
問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

## (3) 咀嚼機能リスク

「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります。

NO	設問内容	選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

なお、オプション項目2設問を加えた3設問で2設問以上に該当した方場合は、口腔機能が低下している高齢者になります。

### 【オプション項目】

NO	設問内容	選択肢
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ

NO	設問内容	選択肢
問3 (4)	口の渴きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

#### (4) 閉じこもりリスク

「1. ほとんど外出しない」、「2. 週1回」に該当する選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

NO	設問内容	選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

#### (5) 認知症リスク

「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

NO	設問内容	選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

#### (6) うつリスク

問7 (3), (4) でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります。

NO	設問内容	選択肢
問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

### (7) IADLが低下している高齢者

下記の項目のうち、3項目以上で、「できない」と回答した場合、IADLが低下している高齢者と判定されます。

NO	設問内容	選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

#### ※ IADL（手段的日常生活動作）

電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、日常生活動作（ADL：決まった時間の起床、着替え、整髪、洗顔に始まり、食事、排せつ、入浴、外出時の移動（歩行）など）ではとらえられない、より頭を使って判断することが求められる動作のことをいいます。

### (8) 転倒リスク

「1. 何度もある」、「2. 1度ある」に該当する選択肢が回答された場合は、転倒リスクがある高齢者になります。

NO	設問内容	選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない